2.2.2 概査の点検項目と変状レベルの判定

(1) 概査の点検項目

概査の点検項目は以下の通りである。

1) 現地確認事項

排土工について表〒-2.2.1 に示す確認事項を調べ、施設の全体的な状況を確認する。 排土工は、法面保護工や多様な付帯施設が設けられている場合があるため、これらの施 設は調査時に現地確認を行う。

施設周辺の集排水状況について確認し、記録を残す。また、法面からの湧水等があればその湧水位置等についてコメントを残す。概査では基本的に流量や pH 等の計測を伴う水質調査等は必ずしも行う必要はないものとする一方で、特筆事項があれば、流量や水質に関しても記録を残すことが望ましい。

なお、施設に併設された観測施設等があれば機器名等を記録する。

表型-2.2.1 現地確認事項

+/==n,\±>=	法面保護工	なし		あり	(工	種:)	付帯施	設		なし		あり	(T	種:)
施設状況	集排水状況	暗きょ	工等す	51)		水路あり	流水なし		流水あり	流量	[(最	大)			/分	流水状況	
湧水状況	法面湧水	湧水	あり					流量	量(最大)				//分	水質	[•計	測値等	
観測施設	計測器名																

2) 概査における点検項目(部位の変状レベル)

表〒-2.2.2 に概査における点検項目を示す。部位ごとに下記の項目に関して近接目視 点検を実施し、当てはまる状況を選択(複数可)し、写真やコメントを記録する。各項目 の最も悪い状況についてレベルを判定する。

表価-2.2.2 概査における点検項目(排土工)

工種・部位	項目	状況 (異常な状況がない場合は0とする, 複合的な状況その他の場合は9とする)
	破壊•欠損	1.亀裂・2.崩落・3.侵食・4.洗掘
排土法面 排土平坦面	変位•変形	1.はらみ出し・2.沈下・3.隆起
	その他変状	1.湧水・2.土塊への水の流入.・3.その他
		1.欠損・2.ひび割れ・3.脱落
法面保護工 モルタル・コンクリ	破壊•欠損	4.破断・5.中詰材の流出(籠工などの場合)
ート吹付工、現場打	変位•変形	1.ずれ・2.はらみ出し・3.傾倒・4.沈下
スト法枠工、石張工、	腐食	1.発錆(籠工などの場合)
	植生生育状況	1.植生工あり(a:良好,b:一部生育不良,c:全体生育不良)
)+/\ -\ e\	構造物背面の変 状	1.構造物背面のすきま(背面地盤侵食による浮きなど)
併用工法※		1.擁壁(枠)工
土圧や地すべりの	併田工法の恋は	2.杭工
骨動力に対抗する もの)	MINITAVISAN	3.アンカーエ
	破損•欠損	1.欠損・2.ひび割れ・3.摩耗
_	変位•変形	1.屈曲・2.ずれ(目地切れ等) ・3.逆勾配
	腐食	1.発錆
// C i + 1 III /	閉塞•埋没	1.土砂堆積・2.落葉等堆積・3.植物侵入・4.その他
一 一 一 こ ス 顔 才 一 二 滑 一 非 隻	排土法面 排土平坦面 排土平坦面 法面保護工 こルタル・コンクリート吹付工、現場打 お法枠工、プレキャー お法枠工、石張工、 調冊工、鉄筋 電入工、植生工等) 併用工法※ 上圧や地すべりの 骨動力に対抗する	# は で で で で で で で で で で で で で で で で で で

※法面保護工の中には、土圧やすべり・崩壊に抵抗する構造物も含まれる場合がある。 特に、杭工、アンカー工が含まれる場合は、別途該当の工種としても点検を行う。これらの構造物に対する概査結果は本票にも記録を残す。なお、籠工等は土圧やすべり・崩壊に抵抗する構造物とは見なさない。

3)施設周辺地盤状況

施設周辺地盤状況を確認し、表〒-2.2.3 の様式に状況を記録する。その際、「施設機能に影響する変状がある」または「施設機能に影響する変状がない」のいずれかを判断する。複数の事象がみられる場合は、最も状態が悪いものを評価する。いずれを選択した場合、施設周辺地盤状況についてコメントと写真を記録する。(該当写真がある場合は、必ず、コメント欄に記入する。)

表価-2.2.4に施設周辺地盤状況として確認するべきポイントの例を示す。

表11-2.2.3 施設周辺地盤状況確認欄

_			
I	佐沙田江地般出 归	□ 施設機能に影響する変状がある	
	施設周辺地盤状況	□ 施設機能に影響する変状がない	

表〒-2.2.4 施設周辺地盤状況として確認するべきポイントの例

場所	具体的な状況
周辺地山斜面	崩落・押し出し・侵食(図価-2.2.1)

周辺地盤状況で確認すべき事例として、排土範囲外の小崩落を図〒-2.2.1 に示す。 崩壊土砂が移動土塊(地すべりブロック内)に到達したり、崩壊地の拡大兆候がある場合は、「施設機能に影響する変状がある」として報告する。



地すべりブロック近接斜面(排土の範囲外) の小崩落



地すべりブロック近接斜面(排土の上方斜面)の小崩落

図〒-2.2.1 周辺地盤の変状例

(2) 変状レベルの評価基準

排土工を対象として、各部位、各項目に対する変状レベルの評価基準(レベル区 分の判定事例(写真)とその解説)を表価-2.2.2~表価-2.2.9に示す。

表〒-222 変状レベル判定事例(排十工(切十法面保護工) その1)

	衣 恤-2.2.2	2	(切上広山休暖工)での1)
変状レベル	評価基準	部位:排土法面・排土平坦面 項目(現象):破損・欠損、変位・変形、 その他変状	解説(具体的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、も くは は は は は と は る る る る る る る の る の る の る の る の る の る		・変状なし
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある	排土法面の侵食	・湧水等によって表層に侵食がみられる。 ※ガリー侵食が部分的に見られる程度であればりとする。 ・法面のはらみ出し、法肩や小段の沈下、法尻や平坦面の隆起等が小規模かつ単独で発生している。 ・降雨後一時的に少量の湧水がある。
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所 的)ではあるが 明らかな変状 がある	表層崩壊が発生し、水路が埋没※	・局所的に表層崩壊が生じる (※左記の事例は「排土法面・排土平坦面」を cとし、水路工 閉塞・埋没もcとする) ・変位・変形が一定範囲のすべりや崩壊兆候を 示す場合「排土法面・排土平坦面」をcとする ・湧水や表流水が常時土塊内に流入している。
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある		・広範囲に渡って表層崩壊等が生じている。 ・広範囲に渡って変位・変形が生じている。 ※排土法面の崩壊または変位・変形は、地山そ のものの緩みを示す場合も含まれる。地すべり 対策のための調査を別途行うことも念頭に、施 設管理者に報告すること。

表価-2.2.3 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その2)

	2CIM Z.Z.C		(切工四面体験工/ でりと /
変状レベル	評価基準	部位:法面保護工(法枠工等※) 項目(現象):破損・欠損、変位・変形、 その他変状	解説(具体的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、もし くは目視困難 なほど軽微で ある	簡易吹付け法枠:枠内は厚層基材吹付	・変状なし ・関ロ幅 1mm以下の密着したあるいは充填されたひび割れが局所的に生じる。
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある	簡易吹付け法枠: 樹木根元の法枠のひび割れ	・開口幅 1~2mmのひび割れが相互に連結する。 ・枠としての形状は保たれている ※プレキャスト枠工の場合は、変位・変形が目地のズレとして現れやすいと考えられる。数~十数 mm 程度のズレによる開口は変状レベルbとする。
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所 的)ではあるが 明らかな変状 がある		・開口幅数cm程度の連続したひび割れが発生する ・枠の一部が欠損している ※プレキャスト枠工の場合は、数 cm 程度の部分的な目地のズレによる開口を変状レベル c と想定する。
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある		・ひび割れが数 cm~数十 c m程度開口し、大きく剥落する ・金網や鋼材等が露出し腐食する ・広い範囲で枠が欠損または大きく変位・ 変形している(構造物として一体化していない)

- ※工法ごとに変状の特徴がある。様々な工法があるが代表的な例を下記に示す:
 - ①吹付枠工:法面に型枠を設置し、モルタルまたはコンクリートで吹付施工する工法
 - ②現場打コンクリート枠工:法面に型枠を設置し、コンクリートポンプなどでコンクリートを打設する工法
 - ③プレキャスト枠工:工場製品の枠の部材を法面上で組み立てる工法

表〒-2.2.4 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その3)

	1K III		
変状レベル	評価基準	部位:法面保護工(籠工等) 項目(現象):破損・欠損、変位・変形、 その他変状	解説(具体的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、も くは 目 視 困難 な ある	プロック頭部の籠工	・変状なし
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある	能工内部の栗石が部分的に流出	・軽微な変状部分的に中詰材(栗石)が抜け出る。
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所 的)ではあるが 明らかな変状 がある	ふとん籠のせり出し 中詰材流失	・はらみ出し、枠材のずれ、脱落等によって、中詰材流失が生じている (局所的な現象の場合)
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある	ふとん籠が 15m 区間で変形 (はらみ出し・傾き)	・広範囲での中詰材流失が生じている ・著しいはらみ出し等によって、施設の安 定性が損なわれている(倒壊している ま たは、倒壊が懸念される) ・施設背面を含めて崩壊している。 ・背面土砂が大量に吸出され、施設背面の 地盤が空いている。

表価-2.2.5 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その4)

変状レベル	評価基準	部位:法面保護工(モルタル吹付工等) 項目(現象):破損・欠損、変位・変形、その他変状	解説(具体的な目安)
а	項げ象がなし視ほで目た状ら、は難軽る挙現況れも目な微		・開口幅 1mm以下の密着したあるいは充填されたひび割れが局所的に生じる。 ・剥落なし(または厚さ2~3cm以下の局所的な剥落あり)
b	項目に 別別 に 対な がある		 ・開口幅 1~2mmのひび割れが相互に連結する。 ・厚さ 2~3cm 表層が劣化し、ハンマーの軽打で剥落する。 (※雨水等を遮る機能はある状態を想定する)
С	項 目 だ ま が な が の が あ ら が が の が が の が が が が が が が が が が が が が		・開口幅数cm程度の連続したひび割れが発生する。 ・表層が部分的に剥落し、ひし 形金網や鋼材が露出する。 (※雨水等を遮る機能が低下している状態を想定する)
d	項目に ず ま 対 い が あ る が あ る が が あ る が り が り の る う る う り る う る う る う る う る う る う る る る る		・ひび割れが数 cm〜数十 c m 程度開口し、大きく剥落する。 ・ひし形金網、鋼材が露出し腐食する。 ・多数あるいは広範囲の剥落があり、地山が露出する。 (※雨水等を遮る機能が低下・喪失している状態を想定する)

※上記写真は下記の文献から引用

「吹付のり面診断・補修・補強の手引き」 平成 25 年 9 月 のり面診断・補修補強研究会

表価-2.2.6 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その5)

	12 VIII 2		八 排工工(划工法团保護工	」その5)
変状 レベル	評価基準	部位:法面保証 項目(現象):		解説(具体的な目安)
а	項げ象がなし視ほで目た・見いく困どあにた状ら、は難軽る挙現況れも目な微	切土法面の表層の植生状態	法枠工中段及び植生状態	・良好 ※地山やラス等がある程度まとまって露出していなければ変状レベルaとする ※季節的な草枯れなどは生育不良としない
Ф	項げ象に微が目 た状し変あいない でまり たまり おおおり ないまる	部分的な法面植生不良	切土法面(一部で植生なし)	・一部生育不良 ※部分的に地山が露出す る程度であれば変状レベ ルbとする
C	項げ象に定所は明変る目に・対し()るかがにた状し()るかががあらが	排土された範囲の大部分で植	生流出または枯死(イメージ図)	・全体生育不良 ※広範囲で植生なく、地 山が露出している状態で あれば変状レベルcとす る
d	項 げ 象 に し が 目 た 状 し 変 挙 現 況 著 状			

表価-2.2.7 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その6)

	4 X WII [−] Z.Z.	人 支扒し、ハ州に争例(J/1 ——	(9)上広山休設工/	2000
変状レベル	評価基準	部位:法面保護工(法枠工等) 項目(現象):施設背面の変状		解説(具体)	的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、もし くは目視困難 なほど軽微で ある			・変状なし	
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある			・地山との間にわずた	かなすきまがある
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所的)ではあるが 明らかな変状 がある			・設置範囲の一部に、まや空洞がある	枠背面の大きなすき
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある			まや空洞がある ・崩落の懸念あり	5、背面の大きなすき うに、複数スパン以上 が浮いた状況を d とす

表価-2.2.8 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その7)

		5 受状レベル刊に争例(排工工	(70=72=7102=7
変状 レベル	評価基準	部位: 付帯施設(水路工) 項目(現象):破損・欠損、変位・変形、 その他変状	解説(具体的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、もし くは目視困難 なほど軽微で ある	承水路工(切土法面に設置)	・変状なし
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある	地山に押された可能性有	・変形、破損、腐食が明らかに認められるが、水路の連続性は保たれている。 (※左記の事例は、排土工本体の地山の押し出しりとしても変状レベルを評価することを検討する。また、施設周辺地盤状況としてもコメントを残すべき。)
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所 的)ではあるが 明らかな変状 がある	排水路工の目地切れ (1 箇所、50mm)	・変形、破損、腐食によって、局所的に水路が不連続、または、局所的に水路断面が減少している(流水の大半が流下可能な程度) ・局所的な漏水があるもしくは明確な漏水跡がある。
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある	縦排水水路が隣接する表層崩壊で押し つぶされている	・水路の連続性が失われている ・変形、破損、腐食によって、水路が不連続となっている。(完全に分離している、流水の大半が水路の外へ流れ出ている) ※錆を伴って連続的に水路の底が抜けている場合等は腐食で判定する

表価-2.2.9 変状レベル判定事例(排土工(切土法面保護工) その8)

	J(111	ク 友状レベル刊に争例()/ 	
変状 レベル	評価基準	部位:付帯施設(水路工) 項目(現象):閉塞・埋没	角	説(具体的な目安)
а	項目に挙げた 現象・状況が見 られない、も は 日 視 困難 な ある		・閉塞・埋没な	
b	項目に挙げた 現象・状況に対 し軽微な変状 がある		・半ば埋もれて れている。	「いるが、排水(通水)は維持さ
С	項目に挙げた 現象・状況に対 し限定的(局所 的)ではあるが 明らかな変状 がある		・ほぼ完全に関 障がある。	理没しており、排水(通水)に支
d	項目に挙げた 現象・状況に対 し著しい変状 がある		土塊内へ供給・明瞭な溢水	漏水があり明らかに地すべり されている ・漏水痕跡があり、明らかに 内へ供給されている

2.2.3 概査の点検様式と記入例

排土工は地すべりブロック等で区切って1施設として点検を行う。面積が広大な場合、 排土の領域内に含まれる付帯施設の延長が長い場合は別途施設として点検・評価しても 良い(「様式-3(1):型OO-1」を用いて、施設群として評価)。

法面保護工の中に土圧や地すべりに抵抗する構造物(擁壁工、杭工、アンカー工)が含まれる場合は、別途該当の工種としても点検を行うこと。

次頁以降に、様式-3(1)の使用例を表〒-2.2.10 に示す。なお、様式-3(1)の「総合評価」「点検結果と対応の目安に対するコメント」の使い方の解説、および、全工種共通となる様式-3(2)~(4)の使用例は I 総論編を参照のこと。

表〒-2.2.10 概査調査票(1/4)の使用例

- 10-			護工)> ※1	The state of the s		1 22	緯度 00"	ΔΔ΄		_	1000	100	ΔΔ' ΠΠ	"			
点	検年月	日 2016	/ 4/ 20	天修	葉 晴れ	点	検者			0	OC	0					
区域名			00 地	Taken and the last of the last			W-T-0-1			E	施工年度	H7-10	年				
250	土量		切土高(直高,全高)		法面勾配		延長	(調	查見	番	号:)			
Į	見地確認					I van var I											
施	設状況		□ なし ☑ あり (エ	-	The same of the same			_	_	路, フト	ン竜、	・蛇籠)	問題あり				
集排水状况 湧水状況 法面湧水			□ 湧水あり 流量(最大) 1/分 水質・青						計測値等				問題あり				
													問題あり				
573		計測器名				計設置跡あり(C C C C C C C C C C C C C C C C C C C						問題あり				
■ 音	が位の変	変状レベル	各項目で当てはまる	状況の	の番号を記入し、最も	悪い状態につい	いてレベル判定する	. <i>\$1</i>	_	_	-			_			
	工種	・部位	項目	划	大況 (異常な状況が				10000			ベル	②部位健全的				
-				1	複合的な状況その他の場合は9とする)				b	С	d	該当写真		(A~D)			
排		排土法面	破損·欠損		. 亀裂·2. 崩落·3. 侵	200 / 200		0				3,9	_				
± I		非土平坦面	変位·変形		.はらみ出し・2.沈	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			0				В				
_			その他変状		.湧水・2.土塊への	G 3-42-1-38-2-1-1-1-1	その他	0									
		法面保護工 (モルタル・コンクリート吹付エ、現場打ち法 枠エ、ブレキャスト法 枠エ、石縄エ、編相 エ、植生工等) 併用工法※ (土圧や地するも の)	破損·欠損		.欠損・2.ひび割れ				_	0		11,12					
	(E)		100.00	-	1.破断・5.中詰材の			0									
去	卜吹			_	.ずれ・2.はらみ出	and 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	た下	0									
面	枠工		腐食		.発錆(籠枠工など	A CLIPS ETCHLOS		0									
保護			植生生育状況		.植生工あり(a:良好,		ALD COMES DEL SOFTE		0			6,14	С	С			
芝工			施設背面の変状		.構造物背面のすき	ま(背面地盤侵)	食による浮きなど)		0			10,13					
	(+		右の工種の変状		.擁壁(枠)工				0			3					
					2.杭工												
					3.アンカーエ												
付世	144	排水路工 (集水升工・落差 工含めて評価)	破損・欠損		.欠損・2.ひび割れ						0	3,8					
帯施			変位・変形		.屈曲・2.ずれ個地	かれ等)・3.逆勾	記				0	3,8	D				
设			腐食	0 1	.発錆												
×			閉塞·埋没	1	.土砂堆積·2.落葉		AL CONTRACTOR AND A CON			0		5					
									③施設の健全度(i~iv)								
			えて本票へ記録、存				u , ii o,	支も悪し) 部位	の健主	色度に	基ついて決定		_			
* 7			等の地下水排除工 の接続部を様式-3(は、別途該当	する調査票を用い	て評	価す	するこ							
施記	- N. S. C.	200	、②部位の健全度(A~D)、③施設の健全度			い評値	五を	統合	U.		を評価する	-			
施記	- N. S. C.	② ← ①				評価	i指標	い評値									
施記※	③ ← i ##	② ← ① A _変 a	:項目に挙げた現象・	状況な	が見られない、もしく	評価 は目視困難なほ	i指標 ほど軽微である		- 812		···(‡	幾能低下し	ていない状	態			
施設の施設の	③ ← i 部 ii 位 の	② ← ① A 変 a B 状 b	:項目に挙げた現象・	状況が	が見られない、もしく(こ対し軽微な変状が	評価 は目視困難なほ ある …(本質	指標 ほど軽微である 的に支障はないが	放置			…(村 能低	機能低下し 下を招く恐っ	ていない状 れがある状	態態			
を 施設の建全	③ ← i 部位の iii 健全	② ← ① A 変 a B 状 b C ベ c	:項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・	状況だ 状況に 状況に	が見られない、もしく! に対し軽微な変状が に対し限定的(局所	評価 は目視困難なほ ある …(本質 り)ではあるが明	指標 ほど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある	放置	 する。	と機能	…(村能低	機能低下し 下を招く恐っ (機能低下	ていない状 れがある状 している状	態態態			
を 施設の建全	③ ← i 部位の健	② ← ① A g a B 状 b C ベ c	:項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・	状況だ 状況に 状況に 状況に	が見られない、もしく(三対し軽微な変状が 三対し限定的(局所的 三対し著しい変状がる	評価 は目視困難なほ ある …(本質 り)ではあるが明 ある	指標 ほど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある (明らか	放置・	 する。 能低	 と機f 下、ā	···(材 能低 ····· また(機能低下し 下を招く恐/ (機能低下 よ機能喪失	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
施 ※ 施設の健全度	③ ← i 部位の健全度	② ← ① A 変 a B 状 b C ベ c	:項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・	状況に 状況に 状況に 状況に	が見られない、もしくが に対し軽微な変状が に対し限定的(局所的 に対し著しい変状がる の変状がある 48	評価 は目視困難なに ある …(本質 り)ではあるがり ある ひ目法面右岸	指標 ほど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある (明らか 即隣接斜面で表	放置に機能	… する。 … 能低 素あ	 と機f 下、a	・・・(体能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機能低下して、一般能低下は機能低下は機能低下は機能喪失のなる。	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
施設の健全度	③ ← 部位の健全度 iii iv	② ← ① A 変 a B 状 b C ベ c D d	:項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・	状況に状況に響する響する	が見られない、もしくに 二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状がる う変状がある 4月 う変状がない る。	評価 は目視困難なに ある …(本質 付)ではあるが明 ある と目法面右岸 蛇籠への影響	指標 Eど軽微である 的に支障はないが 明らかな変状がある (明らか 関隣接斜面で表 質は見られない。	放置に機能を開ける。	… する。 … 能低 素あ	 と機f 下、a	・・・(体能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機能低下して、一般能低下は機能低下は機能低下は機能喪失のなる。	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
施 ※ 施設の健全度 施	③ ← 部位の健全度 iii iv	② ← ① A g a a b c c d d D www.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ・項目に挙げた現象 ✓ 施設機能に影 □ 施設機能に影	状況に状況に要する	が見られない、もしく(二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状が2 の変状がある の変状がない 小段幅)等:10段	評価は目視困難なにある …(本質的)ではあるが明める とはいるが明める とはいるが明める は日記面右岸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指標 とど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	放置に機能を開かれる。	 する 能低 裏あオ	 と機f 下、a	・・・(体能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機能低下して、一般能低下は機能低下は機能低下は機能喪失のなる。	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
も ※ 施設の健全度 施	③ ← i ii iii iii iv iii by iii	② ← ① A g a a b b c c d d ② 世盤状況 □ の状況 □ が 説 が が で が が で が が が が が が が が が が が が	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ✓ 施設機能に影 □ 施設機能に影	状況に状況に関する	が見られない、もしくに 二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状がる 変状がある う変状がない 小段幅)等:10段 途者から施設管理者・	評価は目視困難なにある …(本質的)ではあるが明める とは、一般ではあるが明める とは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	指標 Eど軽微である 的に支障はないが 明らかな変状がある(明らか 関隣接斜面で表所 をは見られない。 m程度?(現場目 たして「対応の目安」	放置に機能を開ける。	… する。 能低 裏あオ	下、言り。私	···(材 能低 また! また! 縦排 いる(機能低下し 下を招く恐 (機能低下 は機能喪失 水路を押 写真3,18)	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
施設の健全度 施	③ ← ^{部位の健全度} 記設周辺 その他 総合評の が応の	② ← ① A g a a b b c c d d ② 世盤状況 ② 世盤状況 ② 世盤状況 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ・ の記機能に影 ・ 施設機能に影 ・ からの配置状況(ある選択肢に○を付ける	状況に 状況に 状況に 状況に 状況に 要する 受数・/ の 点核	が見られない、もしくに 二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状がる 変状がある う変状がない 小段幅 等:10段 含者から施設管理者。 目安に沿って選択す	評価は目視困難なに は目視困難なに ある …(本質 り)ではあるが明 ある と目法面右岸 蛇籠への影響 小段幅:1~21 への伝達事項と る。原則とは異	指標 Eど軽微である 的に支障はないが 明らかな変状がある(明らか 関隣接斜面で表所 をは見られない。 m程度?(現場目 たして「対応の目安」	放置に機能を開ける。	… する。 能低 裏あオ	下、言り。私	···(材 能低 また! また! 縦排 いる(機能低下し 下を招く恐 (機能低下 は機能喪失 水路を押 写真3,18)	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
も ※ 施設の健全度 施	③ → ^{部位の健全度}	② ← ① A g a a b b c c d d ② 世盤状況 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ・項目に挙げた現象 ・ 項目に挙げた現象 ・ 施設機能に影 ・ 施設機能に影 ・ 小段の配置状況(8 る選択肢に○を付ける 判断目安(原則、判	状況に状況に特別に関するという。点様の関する場所の場	が見られない、もしくに 二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状がる 変状がある 変状がない 小段幅)等:10段 き者から施設管理者 目安に沿って選択す 合(総位の健全度全てが	評価は目視困難なにあるが明める …(本質的)ではあるが明める というではあるが明める というではあるが明める というではあるが明める。 日本語では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	指標 ど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある(明らか 関隣接斜面で表 響は見られない。 加程度?(現場目 にして「対応の目安」 なる選択をする場合	放置に機能を開ける。	… する。 能低 裏あオ	下、言り。私	···(材 能低 また! また! 縦排 いる(機能低下し 下を招く恐 (機能低下 は機能喪失 水路を押 写真3,18)	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
も ※ 施設の健全度 施	③ i ii iii iii iii iii iii iii	② ← ① A g a a b b c d d D が は d d 2 地盤状況 1 世盤状況 2 世盤状況 2 世盤状況 2 世盤状況 2 世盤状況 5 変数 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ・項目に挙げた現象 ・ 項目に挙げた現象 ・ 施設機能に影 ・ 施設機能に影 ・ 小段の配置状況(6 る選択肢に○を付ける 判断目安(原則、判 との健全度が「であ	状況に状況にますする。点板の間のある場	が見られない、もしくに 二対し軽微な変状が 二対し限定的(局所的 二対し著しい変状がる 変状がある 変状がない 小段幅)等:10段 き者から施設管理者 自安に沿って選択す 合(部位の健全度でおが 合(部位の健全度でおが	評価は目視困難なにあるが明める。…(本質的)ではあるが明める というではあるが明める というではあるが明める。 というではたるが明める。 というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	指標 ど軽微である 的に支障はないが 明らかな変状がある (明らか 側隣接斜面で表 響は見られない。 加程度?(現場目 にして「対応の目安」 なる選択をする場合	放置に機能を開ける。	… する。 能低 裏あオ	下、言り。私	···(材 能低 また! また! 縦排 いる(機能低下し 下を招く恐 (機能低下 は機能喪失 水路を押 写真3,18)	ていない状 れがある状 している状 している状	態態態			
施設の健全度 施 糸	③ i ii iii iv a a a a a a a a a a a a a a	② ← ① A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	:項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 :項目に挙げた現象 ・項目に挙げた現象 ✓ 施設機能に影: □ 施設機能に影: □ 施設機能に影: 小段の配置状況(配 る選択肢に○を付ける 判断目安(原則、半 段の健全度が i であ 段の健全度が i であ	状況に状況に野すする。点板はある場のある場	が見られない、もしくに 対し軽微な変状が、 対し限定的(局所的 対し著しい変状がる。 変状がある。 変状がない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価は目視困難なにある …(本質的ではあるが明める …) とはあるが明める を といる を を を できまれる場合 。 でもきまれる場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指標 まど軽微である 的に支障はないが 明らかな変状がある(明らか 関隣接斜面で表 響は見られない。 加程度?(現場目 にして「対応の目安」 なる選択をする場合	放置・機能を表すが、関連を表すが、関連を表すが、対象を表すが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりますが、ままりまりますが、ままりますが、ままりまりますが、ままりまりまりますが、ままりまりますが、ままりまりまりますが、ままりまりますが、ままりまりますが、ままりまりまりますが、ままりまりまりまりまりますが、ままりまりまりまりますものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下、きり。れてし	····(札 能低 ······ また! 縦排 いる(機能低下した下を招く恐さい。 (機能低下 は機能展失 は水路を押 写真3,18) 関に必ず記	ていない状 れがある状 している状 している状 しつぶして	態態態態			
施 ※ 施設の健全度 施	③ ← ^{# do g de 2 g} は に 記 記 記 記 の は の は の は の の は の に に に に に に に に に に に に に	② ← ① A B B C C d b C d d d d d d d d d d d d d d d	:項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ :項目に挙げた現象・ 心施設機能に影りが設める。 が設め配置状況(を 3選択肢に〇を付ける 判断目安(原則、半 設の健全度が i でも 設の健全度が ii でも 設の健全度が iiでも	状況に状況には状況にする。原の場合のは金のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全のは全の	が見られない、もしくに 対し軽微な変状が 対し限定的(局所的 対しを対しい変状がある 変状がある 変状がない ・ 大段幅)等:10段 を おから施設管理者 自安に沿って選択す 合(部位の健全度でいた 会(部位の健全度でいた 度でDが一つでも含まれる。	評価は目視困難なにあるが明める …(本質的ではあるが明める とりではあるが明める とりを発表している。原則とは選集の場合) ーつでも含まれる場合 。であり、か	指標 Eど軽微である 的に支障はないが 用らかな変状がある(明らか 関隣接斜面で表 響は見られない。 和程度?(現場目 にして「対応の目安」 なる選択をする場合 (3)	放置に機能を示する。	が ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と機能 下、ま い し い し い し い し い し い し い し い し い し い	····(札 能低 ······ また! 縦排 いる(機能低下した下を招く恐さい。 (機能低下 は機能展失 は水路を押 写真3,18) 関に必ず記	ていない状 れがある状 している状 している状 しつぶして	態態態態			

■点検結果と対応の目安に対するコメント変状の発生要因の推定、総合評価の判断理由等

・排土面に岩盤が露出し表土層が薄いことから、植生工施工後も植生が根付かず表層崩落を起こしている部分が複数ある。特に上部法面で目立つ。・樹木根元に隣接する吹付法枠の一部に亀裂、表層剥離が発生している部分が複数ある。木根の成長による影響が考えられる。また、倒木の根元に隣接する法枠の一部出でも破損が見られる。倒木に伴い木根が隣接する法枠の一部を引っ張ったことにより破損した可能性が考えられる。・小段排水路は全線、縦排水路は部分的に土砂、落葉、植生等で埋積。

2.3 詳細調査

2.3.1 詳細調査計画

排土工(切土法面保護工)は、ほとんどが目視点検で対応可能であるが、目視点検で把握できない部位や現象の調査として、①法面保護工(吹付けコンクリート等)の背後の状況、②地山(地すべり土塊)の状況などが考えられる。

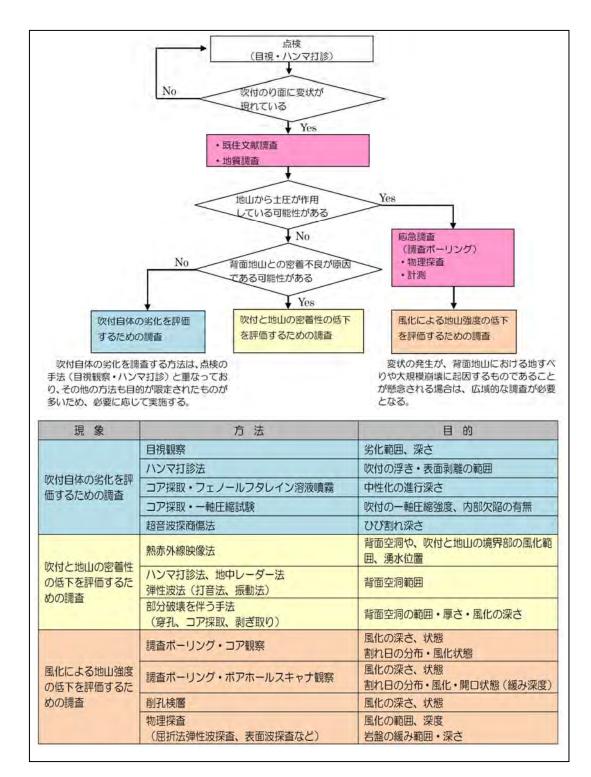
また、目視等によって確認された変状の原因が新たな地すべりによるものかを判断する必要がある。施設や地山における著しい変状や変状発生箇所の連続性等から詳細な調査が必要と判断する場合、その詳細調査は地すべり調査の一環として扱うことが適切と考えられる。

地すべり調査については、本手引きの適用範囲外であり、別途、適切な基準書等に則り調査を実施することが望ましい。

2.3.2 調査方法

排土工(切土法面保護工)を対象とした詳細調査は、各種調査方法についての適切な手引き等にしたがって、調査を行うこと。

排土工に付属する切土法面保護工のうち、目視で把握が困難な特殊な場合の例として、 法面保護工の一種の吹付法面工の調査方法及びその選定例を図〒-2.3.1 に示す。



図〒-2.3.1 切土法面保護工の調査方法および調査方法の選定の例

(のり面診断・補修補強研究会「吹付のり面診断・補修・補強の手引き」 平成 25 年 9月 より引用)